

XXVIII. 診療科情報設定画面

メンテナンス

### 診療科情報の設定

施設独自の診療科		JANISコード	
診療科	名称	コード	名称
121	第2外科	200	外科
101	循環器内科第一	101	循環器内科
102	神経内科	102	神経内科
103	呼吸器科	103	呼吸器内科
104	消化器内科	104	消化器内科
105	胃腸科	105	胃腸科
106	内分泌・代謝内科	106	内分泌・代謝内科
107	腎臓内科	107	腎臓内科
108	糖尿病内科	108	糖尿病内科
109	アレルギー・膠原病内科	109	アレルギー・膠原病内科
110	膠原病内科	110	膠原病内科
111	アレルギー-内科	111	アレルギー-内科

本画面では、自施設内の診療科設定内容と JANIS での診療科コードの対応について設定します。

- i) 「追加」ボタンを押下すると、下の画面が表示されるので当該診療科コードおよび診療科名を入力し、それに対応する JANIS コードをプルダウンから選択して「登録」ボタンを押下します。

診療科コードの登録

### 診療科コード登録

診療科コード

診療科名

JANIS 診療科

- ii) 「更新」ボタンを押下すると、一覧表示中で選択された内容が上の「診療科コードの登録」画面内に表示されるので、適宜修正した後に「登録」ボタンを押下します。
- iii) 「削除」ボタンを押下すると、一覧表示中で選択された内容が診療科情報が削除されます。
- iv) 「閉じる」ボタンを押下すると、この画面を閉じます。

XXIX. マップ用病棟情報設定画面

メンテナンス

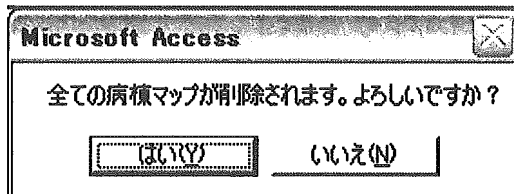
## 感染状況マップ用・病棟情報設定

x軸:病棟数 / y軸:階数

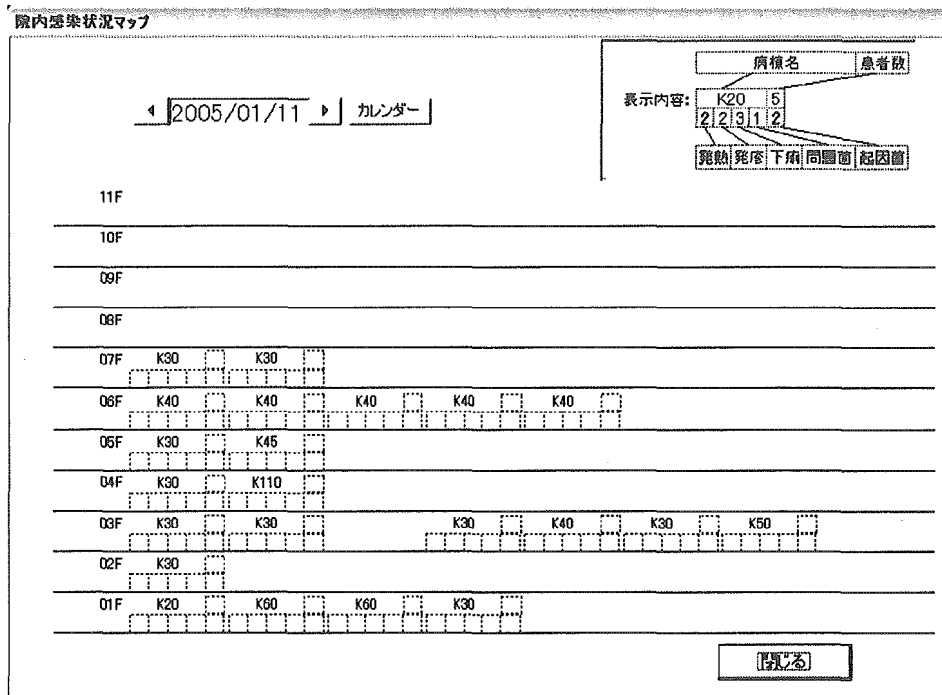
	01	02	03	04	05	06	07	08
11	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼
10	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼
09	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼
08	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼
07	K30 ▼	K30 ▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼
06	K40 ▼	K40 ▼	K40 ▼	K40 ▼	K40 ▼	▼	▼	▼
05	K30 ▼	K45 ▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼
04	K30 ▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼
03	K30 ▼	K30 ▼	▼	K30 ▼	K40 ▼	K30 ▼	K50 ▼	▼
▶ 02	K30 ▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼
01	K20 ▼	K60 ▼	K60 ▼	K30 ▼	▼	▼	▼	▼

本画面では、感染状況マップで表示する各病棟の位置情報について設定します。

- i) 縦軸を階層、横軸をフロア内にある病棟として、プルダウン表示される(病棟情報設定画面で設定した)病棟から選択します。
- ii) 「初期化」ボタンを押下すると下の画面が表示され、「はい(Y)」を選択すると本画面内の設定内容がすべて消去され、「いいえ(N)」を選択すると下の画面を閉じます。



iii) 「プレビュー」ボタンを押下すると、下のように設定内容でのイメージ画面を表示します。



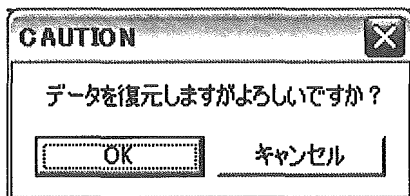
iv) 「閉じる」ボタンを押下すると、この画面を閉じます。

XXX. 削除データ復元画面

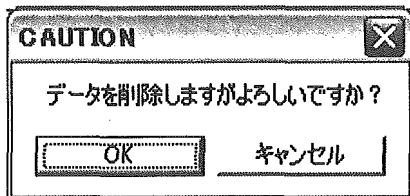
メンテナンス							
削除データの復元							
送信者種別	検査所種別	検体番号	ID	カルテ番号	カナ氏名	検体検出日	
10001	13005	10001000000000000765	6757976691	6757976691	江田花子	2000/07/14	<input type="button" value="データ復元"/> <input type="button" value="完全削除"/>
10001	13005	10001000000000000766	6757976691	6757976691	江田花子	2000/07/13	<input type="button" value="データ復元"/> <input type="button" value="完全削除"/>
10001	13005	10001000000000000767	6757976691	6757976691	江田花子	2000/07/19	<input type="button" value="データ復元"/> <input type="button" value="完全削除"/>
10001	13005	10001000000000000768	6757976691	6757976691	江田花子	2000/07/01	<input type="button" value="データ復元"/> <input type="button" value="完全削除"/>
10001	13005	10001000000000000769	6757976691	6757976691	江田花子	2000/07/11	<input type="button" value="データ復元"/> <input type="button" value="完全削除"/>
10001	13005	10001000000000000770	6757976691	6757976691	江田花子	2000/07/01	<input type="button" value="データ復元"/> <input type="button" value="完全削除"/>
99999	0002	123456789					<input type="button" value="データ復元"/> <input type="button" value="完全削除"/>

本画面では、検査データ修正画面において削除したデータの復元と削除を行います。

- i) 「データ復元」ボタンを押下すると下の確認画面が表示され、「OK」を選択すると一覧表示上で選択したレコードが復元され、「キャンセル」を選択すると下の画面を閉じます。



- ii) 「完全削除」ボタンを押下すると下の確認画面が表示され、「OK」を選択すると一覧表示上で選択したレコードが削除され、「キャンセル」を選択すると下の画面を閉じます。



※ただし、この完全削除処理ではパスワード入力による保護を行っております。(このパスワードについては別途お尋ねください)

- iii) 各一覧表示のタイトル部をクリックすると、その都度当該項目における昇順、降順に並び替えます。
- iv) 「戻る」ボタンを押下すると、この画面を閉じます。

XXXI. システム内コードの更新画面

メンテナンス	
<b>システム内コードの更新</b>	
コードファイルを指定してください	
ファイル名	<input type="text"/>
<input type="button" value="実行"/> <input type="button" value="閉じる"/>	

本画面では、このシステム内部で使用している各種コード表の更新を行います。

- i) 「ファイル名」欄をクリックすることにより表示される「ファイルを開く」画面で、当該データファイルを指定して「実行」ボタンを押下すると、更新処理が開始されます。  
この処理が必要な場合や当該データファイルについては、別途受託業者から連絡されます。
- ii) 「閉じる」ボタンを押下すると、この画面を閉じます。

5. 問い合わせ

システムに不具合が生じた場合など、以下までお問い合わせください。

〒105-0014

東京都港区芝 3-31-2 ノスビル

株式会社ノス ビジネスソリューション事業部 担当 田中

TEL:03-5443-3158 FAX:03-5443-2679

E-mail:yoshiaki.tanaka@noss.co.jp

keita.yoshimura@noss.co.jp

おかげさまで SHIPL の機能が大幅に upgrade しました。

院内感染の管理にお役立てください。

## 「SHIPL V130Rxの新機能」

平成 18 年 2 月 2 日(木)

『厚生労働科学研究費補助金(医療技術評価総合研究事業)「院内感染の防止のための監視体制の整備、細菌検査室の機能向上に関する研究」』

群馬大学大学院医学系研究科生体防御機構学講座細菌感染制御学 藤本 修平

## ★SHIPL V130 Rx の新機能を紹介します。

- ① 簡単な設定で各施設様がそれぞれに注目している菌や菌のグループを問題菌として登録出来ます。必要に応じて感受性の条件も登録できます。(S. aureus から MRSA を選び出すことも簡単に出来ます。)
- ② 院内感染状況マップで任意の期間を指定できるようになりました。①と組み合わせて、任意の菌の分離状況を任意の期間でグラフィカルに表示できるようになりました。さらに、病院全体の合計も同時に見られるようになりました。下の例では、MRSA の検出患者がリストされています。

05F	ドック室		0
	0	0	0
04F	4S(4種菌種)	17	4N(4種北菌種)
	0	0	20
03F	3S(3種菌種)	109	3N(3種北菌種)
	0	0	8
02F	透析室		0
	0	0	0
01F	緊急外来		0
	0	0	0

病棟未設定	31	表示内容
0	0	7
1	1	1
病棟全体	4021	
0	0	38
158	12	

病種名	A菌種	2	2	2	2	2
発熱数						
発疹数						
下痢数						
細菌菌陽性数						
問題菌陽性数						

対象期間	2005/01/01	2005/12/31
問題菌	MRSA	
該当数/入院患者数及び発熱・発疹・下痢情報の取得元	<input checked="" type="radio"/> 検査データ <input type="radio"/> 日計表データ	
集計単位	<input checked="" type="radio"/> 患者単位 <input type="radio"/> 検体単位 <input type="radio"/> JANS	

- ③ 院内感染状況マップの問題菌のところ(上の図の黄色の部分)をダブルクリックするだけで、設定した問題菌が検出されている患者さん(検体)の情報が、病棟、診療科、主治医などともにリストされます。リストは、印刷、CSV 出力出来ます。

問題菌陽性リスト

問題菌リスト名: MRSA	病棟名: 病院全体	日付: 2005/12/01 ~ 2005/12/31	検体提出数: 84	菌陽性検体数: 49	問題菌陽性検体数: 7	菌抽出数: 87	検体提出患者数: 47	菌陽性患者数: 33	問題菌陽性患者数: 6	問題菌検出数: 7				
検体番号	20051220419888	ID	20509770	病棟	2S	3S(3種菌種)	年齢	入院外来	入院	菌名	1303 Staphylococcus aureus (MRSA)	主治医		
検体提出日	2005/12/12	氏名		診療科	2	2	性別	女	入院日	0000/00/00	検査材料	301 鼻便	氏名	
検体番号	200512160419391	ID		病棟	3S	3S(3種菌種)	年齢	入院外来	入院	菌名	1303 Staphylococcus aureus (MRSA)	主治医		
検体提出日	2005/12/16	氏名		診療科	2	2	性別	女	入院日	0000/00/00	検査材料	101 痰	氏名	
検体番号	200512070419289	ID		病棟	4N	4N(4種北菌種)	年齢	入院外来	入院	菌名	1303 Staphylococcus aureus (MRSA)	主治医		
検体提出日	2005/12/07	氏名		診療科	2	2	性別	男	入院日	0000/00/00	検査材料	102 気管内挿管	氏名	
検体番号	200512000419400	ID		病棟	4N	4N(4種北菌種)	年齢	入院外来	入院	菌名	1303 Staphylococcus aureus (MRSA)	主治医		
検体提出日	2005/12/09	氏名		診療科	2	2	性別	男	入院日	0000/00/00	検査材料	101 痰	氏名	
検体番号	200512100419538	ID		病棟	4N	4N(4種北菌種)	年齢	入院外来	入院	菌名	1303 Staphylococcus aureus (MRSA)	主治医		
検体提出日	2005/12/10	氏名		診療科	2	2	性別	男	入院日	0000/00/00	検査材料	101 痰	氏名	
検体番号	200512270419594	ID		病棟	4N	4N(4種北菌種)	年齢	入院外来	入院	菌名	1303 Staphylococcus aureus (MRSA)	主治医		
検体提出日	2005/12/27	氏名		診療科	2	2	性別	男	入院日	0000/00/00	検査材料	101 痰	氏名	
検体番号	200512270419595	ID		病棟	4N	4N(4種北菌種)	年齢	入院外来	入院	菌名	1303 Staphylococcus aureus (MRSA)	主治医		
検体提出日	2005/12/27	氏名		診療科	2	2	性別	男	入院日	0000/00/00	検査材料	101 痰	氏名	

感染情報レポート(菌の感受性パターンが表示できる)と組み合わせて、きめ細かな感染管理が可能になります。

- ④ 菌の異常集積で施設ごとの菌分離率(ベースラインレート)を簡単に算出できるようになりました。

- ⑤ 菌の異常集積で検出レベル(閾値)を簡単に変更できるようになりました。
- ⑥ 菌の異常集積で複数のベースラインレートで自由に検索できるようになりました。自施設のベースラインレートで、時間的な集積や、特定病棟の集積を把握し、全国平均のベースラインレートで、他施設との比較が簡単にできます。

**baseline rateの作成**

開始日  終了日  デフォルト値設定

BLR名称

備考

集計単位  患者単位  検体単位  JANIS

**baseline rate**

**警告レベルの設定**

LEVEL3

LEVEL2

LEVEL1

- ⑦ 菌の異常集積でベースラインレートを閲覧したり、入出力できるようになりました。他の施設のベースラインレートを借りたり、ベースラインレートそのものを統計量として利用できます。

**baseline rateの編集**

編集するbaseline rateの選択

基本情報

BLR名称

備考

菌一覧

菌名△	出現率△
1015 Yeasts	0.164179
1101 α-Streptococcus	0.33582
1102 β-Streptococcus	0.007462
1103 γ-Streptococcus	0.054726
1114 Streptococcus agalactiae	0.02985
1123 G群β-Streptococcus	0.004976
1132 Streptococcus pneumoniae (PRSP)	0.002487
1133 Streptococcus pneumoniae (PISP)	0.007462
1134 Streptococcus pneumoniae (PSSP)	0.014925

菌コード

出現率

面検索

菌コード

菌名

**baseline rateの入出力**

出力するBLR名称

**baseline rateの作成**

開始日  終了日  デフォルト値設定

BLR名称

備考

集計単位  患者単位  検体単位  JANIS

**警告レベルの設定**

LEVEL3

LEVEL2

LEVEL1

院内・患者	1		
1015	0.164179	402	66
1101	0.33582	402	135
1102	0.007462	402	3
1103	0.054726	402	22
1114	0.02985	402	12

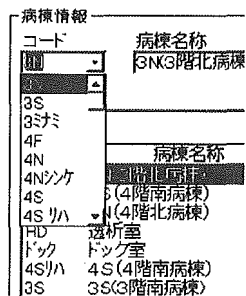


- ⑨ 検査材料別分離菌情報で、検体提出患者数、総検体数が集計されるようになりました。菌の陽性率を計算する分母として利用でき、行政からの要求に応えることが出来ます。

菌名	病院全体	階出候	気管内挿入	気管支洗浄液	咽喉粘液	その他(呼吸器)	自然採尿	尿道分泌物	カテーテル尿(採尿、留置カテーテル)	その他(泌尿・生殖)	糞便	胆汁	その他(消化管)
合計	1362	841	46	0	84	2	31	5	149	2	46	1	12
検体提出患者数	918	341	20	1	34	1	61	2	161	2	148	3	4
陽性患者数	807	338	19	0	33	1	28	2	91	1	37	1	4

菌名	病院全体	階出候	気管内挿入	気管支洗浄液	咽喉粘液	その他(呼吸器)	自然採尿	尿道分泌物	カテーテル尿(採尿、留置カテーテル)	その他(泌尿・生殖)	糞便	胆汁	その他(消化管)
合計	1588	920	47	0	82	2	31	5	159	2	47	1	12
検体提出数	1399	452	24	1	37	1	62	2	180	2	183	2	7
陽性検体数	859	445	22	0	38	1	26	2	108	1	40	1	5

- ⑨ 病棟マスター管理で送信されているコードがプルダウンメニューに出るようになりました。同じ病棟に複数コードを対応させる機能と合わせて漏れのないマスター管理が出来るようになりました。
- ⑩ 一つの病棟に対して複数のコードが送られてくる場合は、それらを一つの病棟にひも付けることが出来ます。例えば、3階南病棟を示すコードとして「3S」「3 ミナミ」「3F ミナミ」が送られてきてしまう場合でも、それらを全て病棟名称「3階南病棟」にひも付けて一つの病棟として扱うことが出来ます。



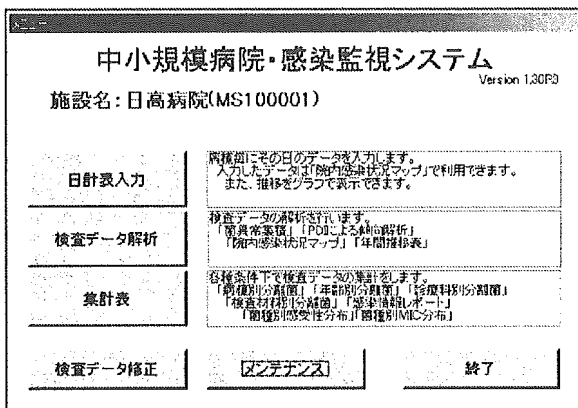
- ⑪ 病棟別分離菌などでマスターで対応していないコードを表に出すようにしました。⑨の機能と合わせて、マスターの漏れを防ぐことが出来ます。

菌名	病院全体	未入力	3N(3階北病棟)	3S(3階南病棟)	4N(4階北病棟)	4S(4階南病棟)	4F	4W	キヨウキ	シンケキ
1011 Gram-positive cocci	4	0	1	1	2	0	0	0	0	0
1014 Gram-negative bacilli	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0
1015 Yeasts	106	1	14	24	69	0	0	0	0	0
1016 Protozoa	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

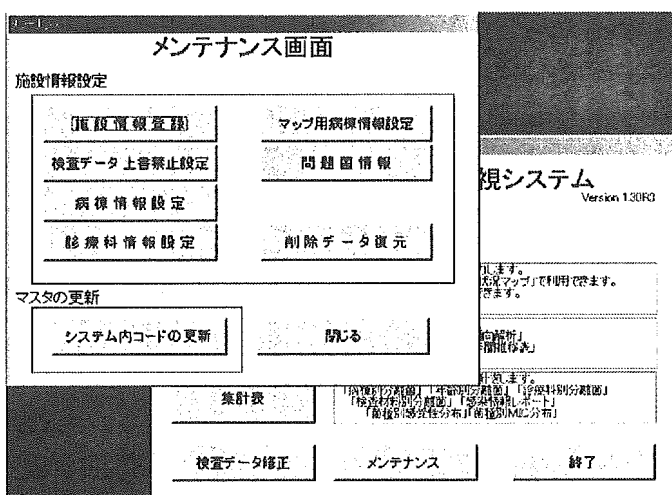
## ★ 実際の操作方法

1) 問題菌の設定を試みましょう。

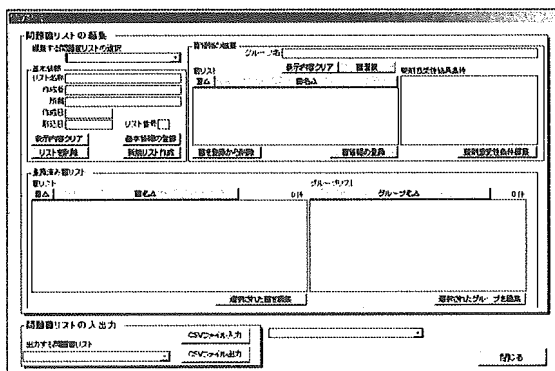
(ア) 院内機能を起動します。



(イ) メンテナンスを開きます。



(ウ) 問題情報を押すと問題菌設定画面が開きます。



(エ) 問題菌リストの編集の部分の左側、新規リスト作成ボタンを押すとリスト番号が割り振られます。

(オ) リスト名称、作成者、所属などを入力基本情報を入力し、基本情報の登録ボタンを押します。

(カ) リストの選択で登録したリストを選びます。  
(R4 で、この部分の操作が必要なくなる可能性があります。R3 では選んで下さい。)

(キ) 設定する菌の選択をします。菌選択ボタンを押すか、菌名のエリア(下の図のマウスポインターのあるところ)をダブルクリックして下さい。

問題菌リストの編集

編集する問題菌リストの選択

菌情報の編集 グループ名

基本情報

リスト名称

作成者

所属

作成日

取込日  リスト番号

表示内容クリア | 基本情報の登録

リストを削除 | 新規リスト作成

菌リスト 表示内容クリア | 菌選択 | 薬剤感受性結果条件

菌名△

菌名△

菌を登録から削除 | 菌情報の登録 | 薬剤感受性条件編集

(ク) 菌を選びます。

菌リスト 69件

1011 Gram-positive cocci

1014 Gram-negative bacilli

1015 Yeasts

1101 α-Streptococcus

1102 β-Streptococcus

1103 γ-Streptococcus

1114 Streptococcus agalactiae

1123 G群β-Streptococcus

1131 Streptococcus pneumoniae

1132 Streptococcus pneumoniae (PRSP)

1133 Streptococcus pneumoniae (PISP)

1134 Streptococcus pneumoniae (PSSP)

1200 Enterococcus sp.

1201 Enterococcus faecalis

1205 Enterococcus faecium

1301 Staphylococcus aureus

1303 Staphylococcus aureus (MRSA)

1304 Staphylococcus aureus (MSSA)

1311 Staphylococcus coagulase negative (CONS)

1800 Neisseria sp.

1851 Moraxella (Branhamella) catarrhalis

2001 Escherichia coli

検索

菌コード

菌名

菌種

ソート コード順 | △ | クリア | 検索

選択済み 1件

1303 Staphylococcus aureus (MRSA)

選択 | 閉じる

選択ボタンを押します。

(ケ) 菌の登録をします。

菌情報の編集

グループ名

菌リスト 表示内容クリア | 菌選択 | 薬剤感受性結果条件

菌名△

菌名△

1303 Staphylococcus aureus (MRSA)

菌を登録から削除 | 菌情報の登録 | 薬剤感受性条件編集

(コ) 菌(ここでは、MRSA)が登録されました。

問題菌リストの編集

編集する問題菌リストの選択  
MPSA

菌情報の編集  
グループ名

基本情報  
リスト名称 MPSA  
作成者 藤本俊平  
所属 群馬大学  
作成日 2006/02/01  
取込日 2006/02/01 リスト番号 8

表示内容クリア 基本情報の登録  
リストを削除 新規リスト作成

菌リスト  
菌名△  
1303 Staphylococcus aureus (MRSA)

菌を選択  
菌名△  
薬剤感受性結果条件

菌を登録から削除 菌情報の登録 薬剤感受性条件編集

登録済み菌リスト

菌名△	グループ名	グループ
1303 Staphylococcus aureus (MPSA)		1

選択された菌を編集 選択されたグループを編集

(サ) 同じ問題菌「MRSA」に、他の菌(*S. aureus* と MSSA)を登録してみます。

菌選択

菌リスト 69件

- 1011 Gram-positive cocci
- 1014 Gram-negative bacilli
- 1015 Yeasts
- 1101  $\alpha$ -Streptococcus
- 1102  $\beta$ -Streptococcus
- 1103  $\gamma$ -Streptococcus
- 1114 Streptococcus agalactiae
- 1123  $G$ 群  $\beta$ -Streptococcus
- 1131 Streptococcus pneumoniae
- 1132 Streptococcus pneumoniae (PRSP)
- 1133 Streptococcus pneumoniae (PISP)
- 1134 Streptococcus pneumoniae (PSSP)
- 1200 Enterococcus sp.
- 1201 Enterococcus faecalis
- 1205 Enterococcus faecium
- 1301 Staphylococcus aureus
- 1303 Staphylococcus aureus (MRSA)
- 1304 Staphylococcus aureus (MSSA)
- 1311 Staphylococcus coagulase negative (CNS)
- 1800 Neisseria sp.
- 1851 Moraxella (Branhamella) catarrhalis
- 2001 Escherichia coli

検索  
菌コード  
菌名  
問題菌

ソート コード順 △ クリア 検索

選択済み 2件

- 1301 Staphylococcus aureus
- 1304 Staphylococcus aureus (MSSA)

選択 閉じる

(シ) これらの菌には MPIPC(オキサシリン)が耐性であるという条件を付けます。

感受性条件編集ボタンを押します。

菌情報の編集

グループ名

菌リスト

菌△	菌名△
1301	Staphylococcus aureus
1304	Staphylococcus aureus (MSSA)

条件 R でオキサシリンを選び確定します。

薬剤感受性条件作成

1208

S I R OR AND

OR AND =

1208=R

抗菌薬リスト 252件

- 1100 モノバクタム系
- 1101 アストレオナム
- 1106 ガルモナム
- 1200 ペニシリン系
- 1201 ベンジルペニシリン
- 1202 フェニキシメチルペニシリン
- 1203 プロピルピリン
- 1206 ベンジルペニシリンベンザチン
- 1207 メチシリン
- 1211 フェネキシリンカリウム
- 1212 クロキサシリン
- 1213 ジクロキサシリン
- 1214 フルクロキサシリン
- 1216 アンピシリン
- 1217 ヘタシリン
- 1221 バカンゼシリン
- 1222 メダエリン

検索

菌コード

菌名

ソート コード順

登録を押します。

薬剤感受性条件作成

1208

S I R OR AND

OR AND =

1208=R

抗菌薬リスト 252件

- 1100 モノバクタム系
- 1101 アストレオナム
- 1106 ガルモナム
- 1200 ペニシリン系
- 1201 ベンジルペニシリン
- 1202 フェニキシメチルペニシリン
- 1203 プロピルピリン
- 1206 ベンジルペニシリンベンザチン
- 1207 メチシリン
- 1211 フェネキシリンカリウム
- 1212 クロキサシリン
- 1213 ジクロキサシリン
- 1214 フルクロキサシリン
- 1216 アンピシリン
- 1217 ヘタシリン
- 1221 バカンゼシリン
- 1222 メダエリン

検索

菌コード

菌名

ソート コード順

菌情報の登録ボタンを押します。

菌名△	薬剤感受性結果条件
1301 Staphylococcus aureus	1208=R
1304 Staphylococcus aureus (MSSA)	

(ス) これで、登録が終わりました。

菌リストの条件は「または」です。

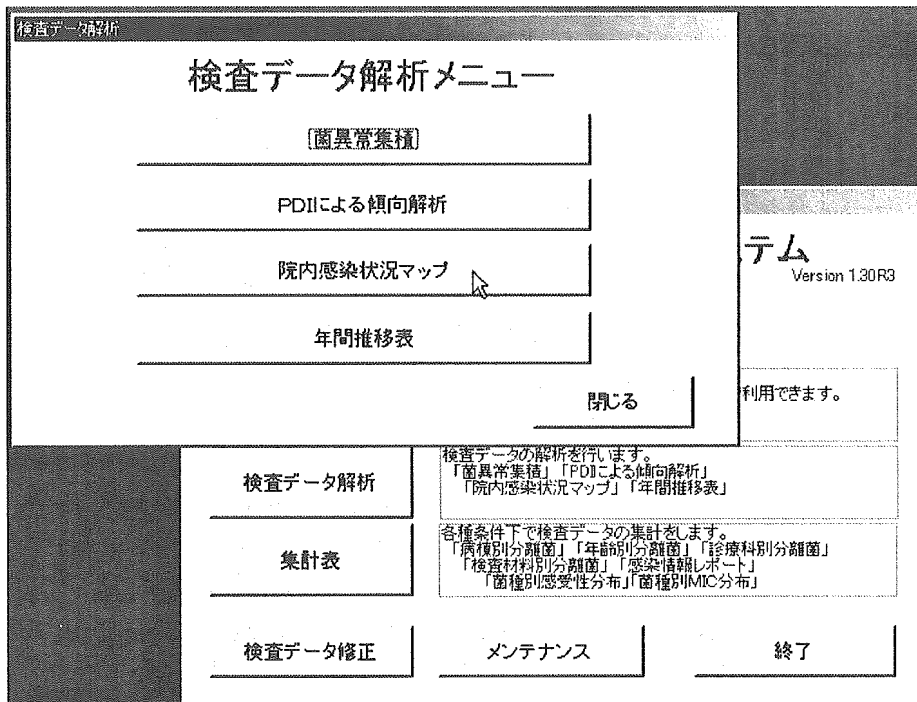
つまり、この例では、問題菌「MRSA」として MRSA として報告されているか、MSSA と報告されていて MPIP が R か(こういう事があっては困りますが、)、あるいは、S. aureus として報告されていて MPIP が R の菌が選択されるようになります。

問題菌は例えば、*P. aeruginosa* 一菌種だけで薬剤感受性の条件なしでも登録できます。いくつでも登録できます。いつでも、削除できます。この菌が出ている人のリストが欲しいなと思ったら、ちょっと登録して、次の病棟感染状況マップでリストを出して見て下さい。

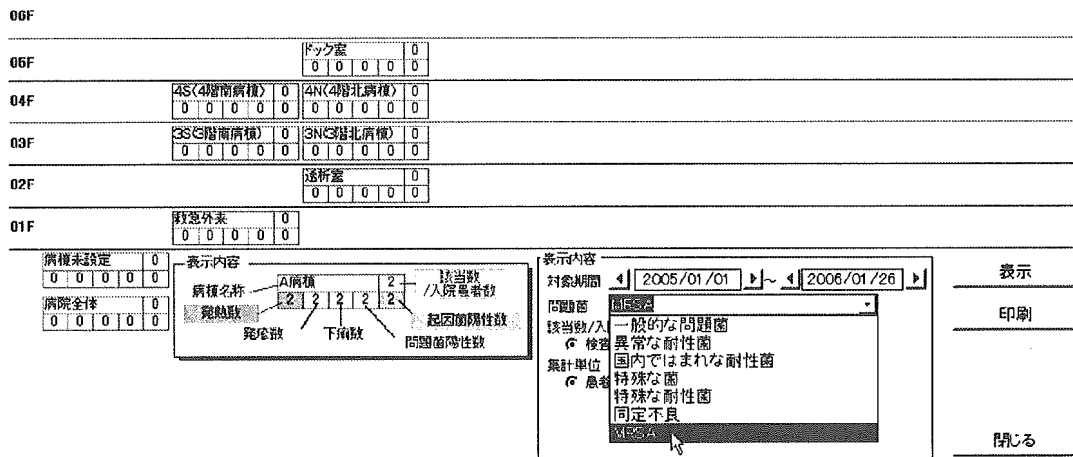
菌名△	薬剤感受性結果条件
1301 Staphylococcus aureus	1208=R
1303 Staphylococcus aureus (MRSA)	
1304 Staphylococcus aureus (MSSA)	

2) 問題菌が検出されている患者さんのリストを出しましょう。

(ア) 院内機能の検査データ解析から、感染状況マップを選びます。



(イ) 先ほど作った問題菌「MRSA」を選びます。



(ウ) 表示対象期間を指定します。日付のところをダブルクリックするとカレンダーが出てきます。





問題菌陽性リスト													
問題菌リスト名: MRSA		検体提出数: 84		検体提出患者数: 47		菌陽性患者数: 33							
病種名: 病院全体		菌陽性検体数: 49		菌陽性患者数: 33		問題菌陽性患者数: 6							
日付: 2005/12/01 ~ 2005/12/31		菌陽性検体数: 7		問題菌陽性患者数: 6		問題菌陽性患者数: 6							
		菌陽性検体数: 87		問題菌陽性患者数: 7									
検体番号	200512120419689	ID	20506770	病種	3S(3階南病棟)	年齢	入院外来	入院	菌名	1303 Staphylococcus aureus (MRSA)	主治医		
検体提出日	2005/12/12	氏名		診療科	92	性別	女	入院日	0000/00/00	検査材料	301 糞便	氏名	
検体番号	200512160419391	ID		病種	3S(3階南病棟)	年齢	入院外来	入院	菌名	1303 Staphylococcus aureus (MRSA)	主治医		
検体提出日	2005/12/16	氏名		診療科	92	性別	女	入院日	0000/00/00	検査材料	101 咳出液	氏名	
検体番号	200512070419289	ID		病種	4N(4階北病棟)	年齢	入院外来	入院	菌名	1303 Staphylococcus aureus (MRSA)	主治医		
検体提出日	2005/12/07	氏名		診療科	92	性別	男	入院日	0000/00/00	検査材料	102 気管内挿液	氏名	
検体番号	200512090419400	ID		病種	4N(4階北病棟)	年齢	入院外来	入院	菌名	1303 Staphylococcus aureus (MRSA)	主治医		
検体提出日	2005/12/09	氏名		診療科	6	消化器	性別	男	入院日	0000/00/00	検査材料	101 咳出液	氏名
検体番号	200512100419538	ID		病種	4N(4階北病棟)	年齢	入院外来	入院	菌名	1303 Staphylococcus aureus (MRSA)	主治医		
検体提出日	2005/12/10	氏名		診療科	92	性別	男	入院日	0000/00/00	検査材料	101 咳出液	氏名	
検体番号	200512270419594	ID		病種	4N(4階北病棟)	年齢	入院外来	入院	菌名	1303 Staphylococcus aureus (MRSA)	主治医		
検体提出日	2005/12/27	氏名		診療科	92	性別	男	入院日	0000/00/00	検査材料	101 咳出液	氏名	
検体番号	200512270419595	ID	99007174	病種	4N(4階北病棟)	年齢	入院外来	入院	菌名	1303 Staphylococcus aureus (MRSA)	主治医		

問題菌陽性リスト													
問題菌リスト名: MRSA		検体提出数: 84		検体提出患者数: 47		菌陽性患者数: 33							
病種名: 病院全体		菌陽性検体数: 49		菌陽性患者数: 33		問題菌陽性患者数: 6							
日付: 2005/12/01 ~ 2005/12/31		菌陽性検体数: 7		問題菌陽性患者数: 6		問題菌陽性患者数: 6							
		菌陽性検体数: 87		問題菌陽性患者数: 7									
検体番号	200512120419689	ID	20506770	病種	3S(3階南病棟)	年齢	入院外来	入院	菌名	1303 Staphylococcus aureus (MRSA)	主治医		
検体提出日	2005/12/12	氏名		診療科	92	性別	女	入院日	0000/00/00	検査材料	301 糞便	氏名	
検体番号	200512160419391	ID		病種	3S(3階南病棟)	年齢	入院外来	入院	菌名	1303 Staphylococcus aureus (MRSA)	主治医		
検体提出日	2005/12/16	氏名		診療科	92	性別	女	入院日	0000/00/00	検査材料	101 咳出液	氏名	
検体番号	200512070419289	ID		病種	4N(4階北病棟)	年齢	入院外来	入院	菌名	1303 Staphylococcus aureus (MRSA)	主治医		
検体提出日	2005/12/07	氏名		診療科	92	性別	男	入院日	0000/00/00	検査材料	102 気管内挿液	氏名	
検体番号	200512090419400	ID		病種	4N(4階北病棟)	年齢	入院外来	入院	菌名	1303 Staphylococcus aureus (MRSA)	主治医		
検体提出日	2005/12/09	氏名		診療科	6	消化器	性別	男	入院日	0000/00/00	検査材料	101 咳出液	氏名
検体番号	200512100419538	ID		病種	4N(4階北病棟)	年齢	入院外来	入院	菌名	1303 Staphylococcus aureus (MRSA)	主治医		
検体提出日	2005/12/10	氏名		診療科	92	性別	男	入院日	0000/00/00	検査材料	101 咳出液	氏名	
検体番号	200512270419594	ID		病種	4N(4階北病棟)	年齢	入院外来	入院	菌名	1303 Staphylococcus aureus (MRSA)	主治医		
検体提出日	2005/12/27	氏名		診療科	92	性別	男	入院日	0000/00/00	検査材料	101 咳出液	氏名	
検体番号	200512270419595	ID		病種	4N(4階北病棟)	年齢	入院外来	入院	菌名	1303 Staphylococcus aureus (MRSA)	主治医		
検体提出日	2005/12/27	氏名		診療科	92	性別	男	入院日	0000/00/00	検査材料	101 咳出液	氏名	

(カ) 一年分の情報も、簡単に手に入ります。

06F	0	0	0	0	0	0	0	0	0
04F	4S(4階南病棟)	17	4N(4階北病棟)	208	0	0	1	2	0
03F	3S(3階南病棟)	109	3N(3階北病棟)	86	0	0	4	16	2
02F	透析室	0	0	0	0	0	0	0	0
01F	救急外来	0	0	0	0	0	0	0	0

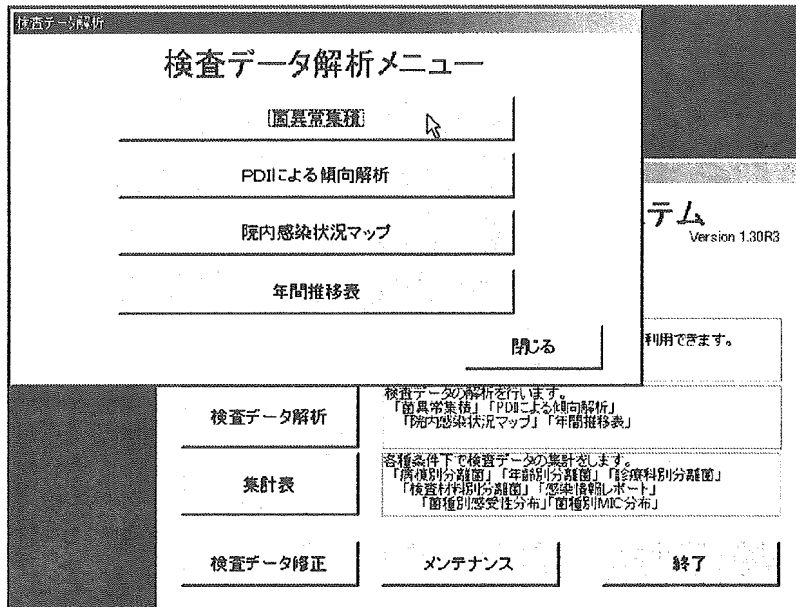
  

病種未設定	31	表示内容	病種名	2	2	2	2	2	2	該当数	入院患者数
0	0	7	1	1	1	1	1	1	1	1	1
病院全体	402	菌陽性数	2	2	2	2	2	2	2	2	2
0	0	38	58	12	12	12	12	12	12	12	12

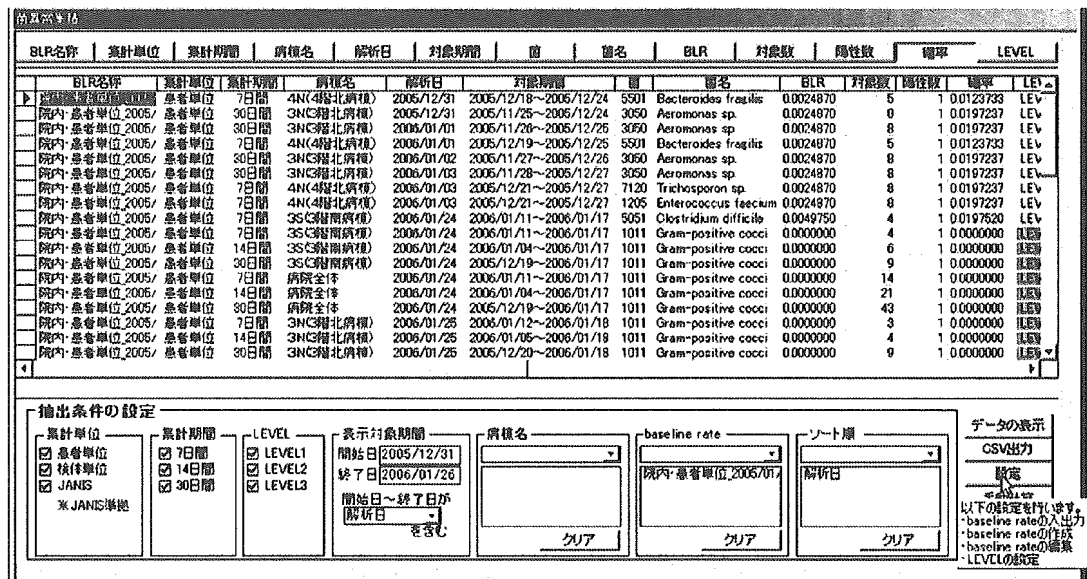
  

対象期間	2005/01/01	2005/12/31	表示
問題菌	MRSA		
該当数/入院患者数及び発熱・発疹・下痢情報の取得元	検査データ	日計表データ	
集計単位	患者単位	検体単位	JANS

- 3) 自施設のベースラインレートを作って利用しましょう。  
 (ア) 検査データ解析の菌の異常集積を開きます。



- (イ) 設定を選びます。(ボタンの上で少し待つとヘルプが出ます。)



- (ウ) 設定画面の右中段に baseline rate の作成という部分があります。

医療情報システム

### baseline rateの編集

編集するbaseline rateの選択

基本情報  
BLR名称  
備考

基本情報更新 baseline rate削除

面一覧	面名△	出現率△

面コード  
出現率  
面情報更新 面情報削除

面検索  
面コード  
面名  
クリア 検索

### baseline rateの入出力

出力するBLR名称  
CSVファイル入力  
CSVファイル出力

### baseline rateの作成

開始日 [2004/06/28] 終了日 [2006/01/30] デフォルト値設定

BLR名称 院内2004/06/28~2006/01/30

備考

集計単位  患者単位  
 検体単位  
 JANIS

baseline rate作成

### 警告レベルの設定

LEVEL3 [1]  
LEVEL2 [0.005]  
LEVEL1 [0.02]

LEVEL設定

閉じる

(エ) 集計期間と名称を決定します。

名称に集計単位(患者単位、検体単位など)をいれておくとい良いでしょう。

期間は、適当な1年程度(出来れば、余り大きな outbreak の無かった期間が良いでしょう)を取り、集計単位は患者単位が必須、後は、JANIS、検体単位の順で考えて下さい。集計は、あっという間に終わります。変更は一年に一度未満ですから、全部出しておいても良いかもしれません。

### baseline rateの作成

開始日 [2004/06/28] 終了日 [2006/01/30] デフォルト値設定

BLR名称 院内患者単位 :2004/06/28~2006/01/30

備考

集計単位  患者単位  
 検体単位  
 JANIS

baseline rate作成

(オ) 新しいベースラインレートの作成が済んだら、集計に反映させるために必ず手動計算を行って下さい。その日以降は、自動入力起動している限り、毎日自動で計算されます。手動計算のボタンを押します。